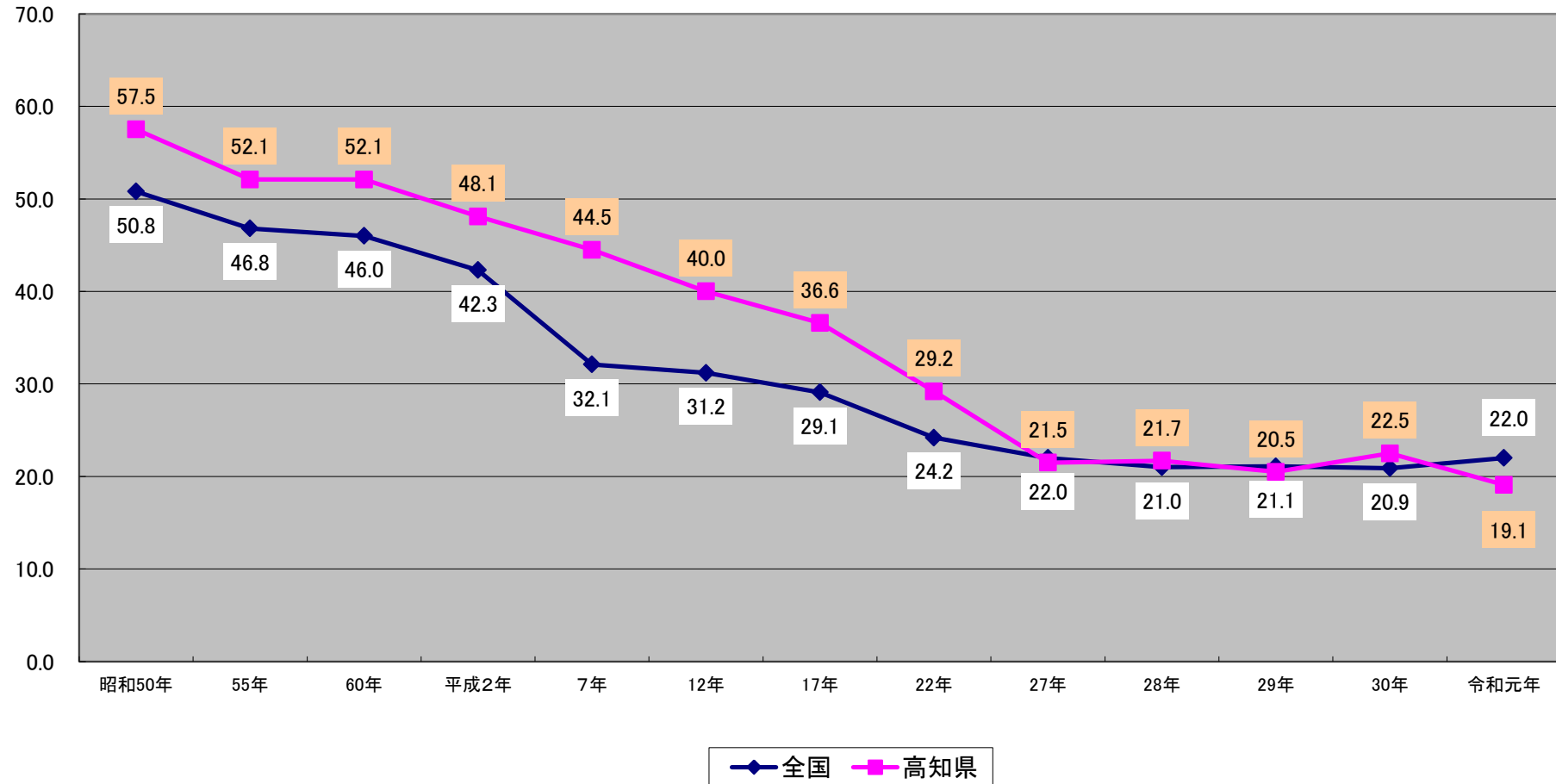


死産率の推移

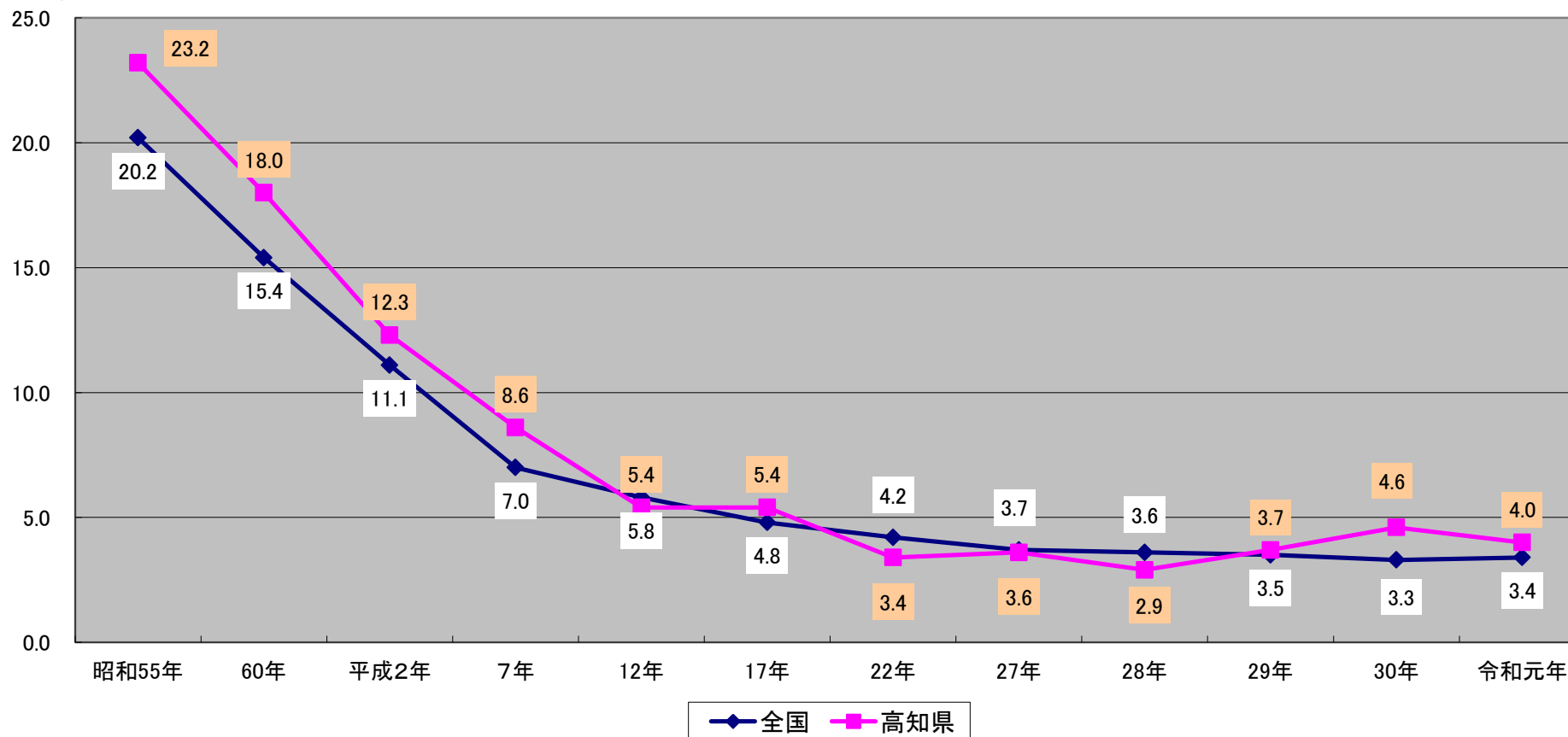
(出産千対) 死産率は、全国・本県ともに減少している。本県の死産率は、平成27年からはほぼ同じ水準となり、令和元年には全国を下回った。



資料：厚生労働省「人口動態調査」による。

周産期死亡率の推移

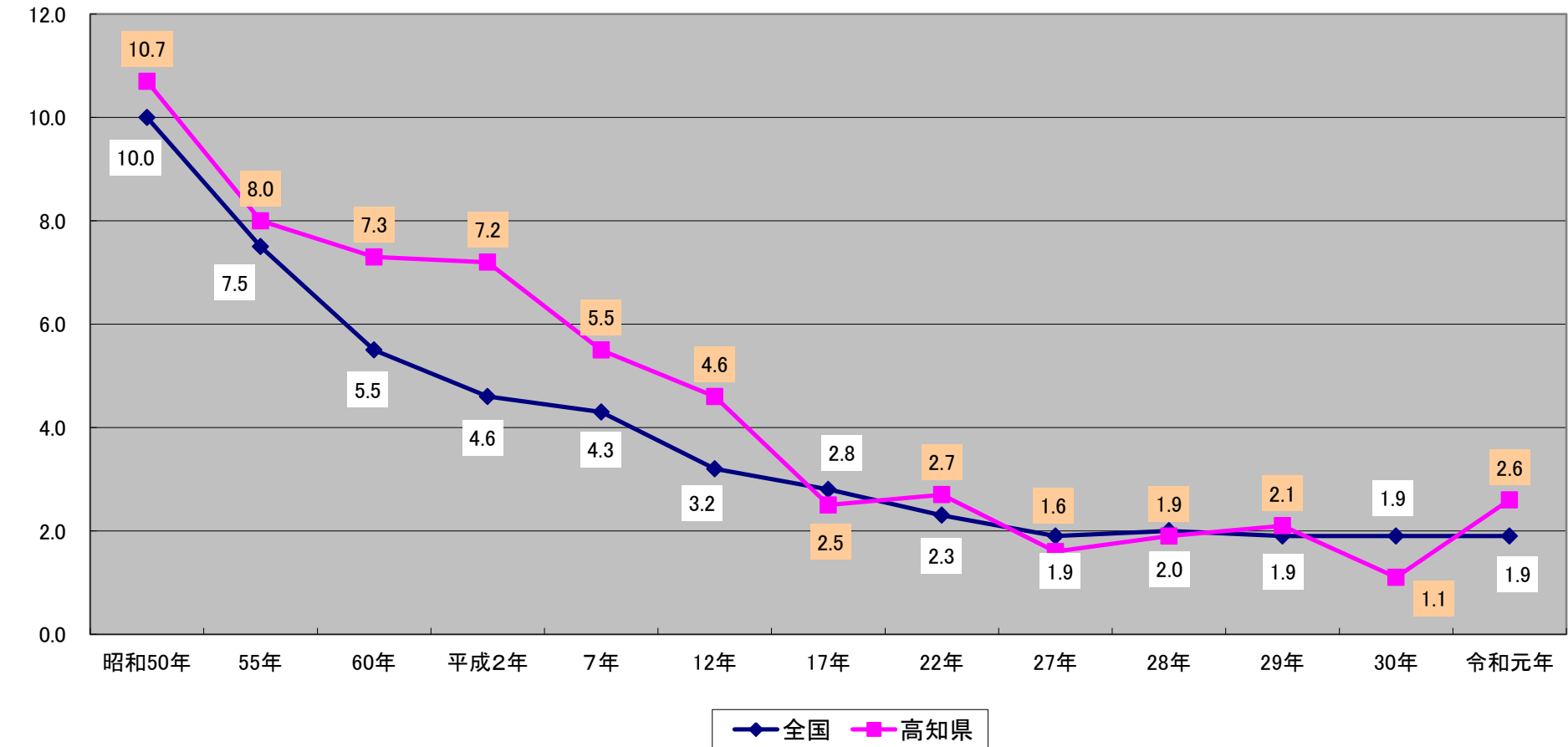
周産期死亡率は、全国、本県ともに減少傾向にある。本県の周産期死亡率は平成29年度から全国を上回っている。
 (出生千対)



資料:厚生労働省「人口動態調査」による。周産期死亡率は、妊娠満22週以後の死産率と早期新生児(生後1週未満)の死亡率を合わせたもの。

乳児死亡率の推移

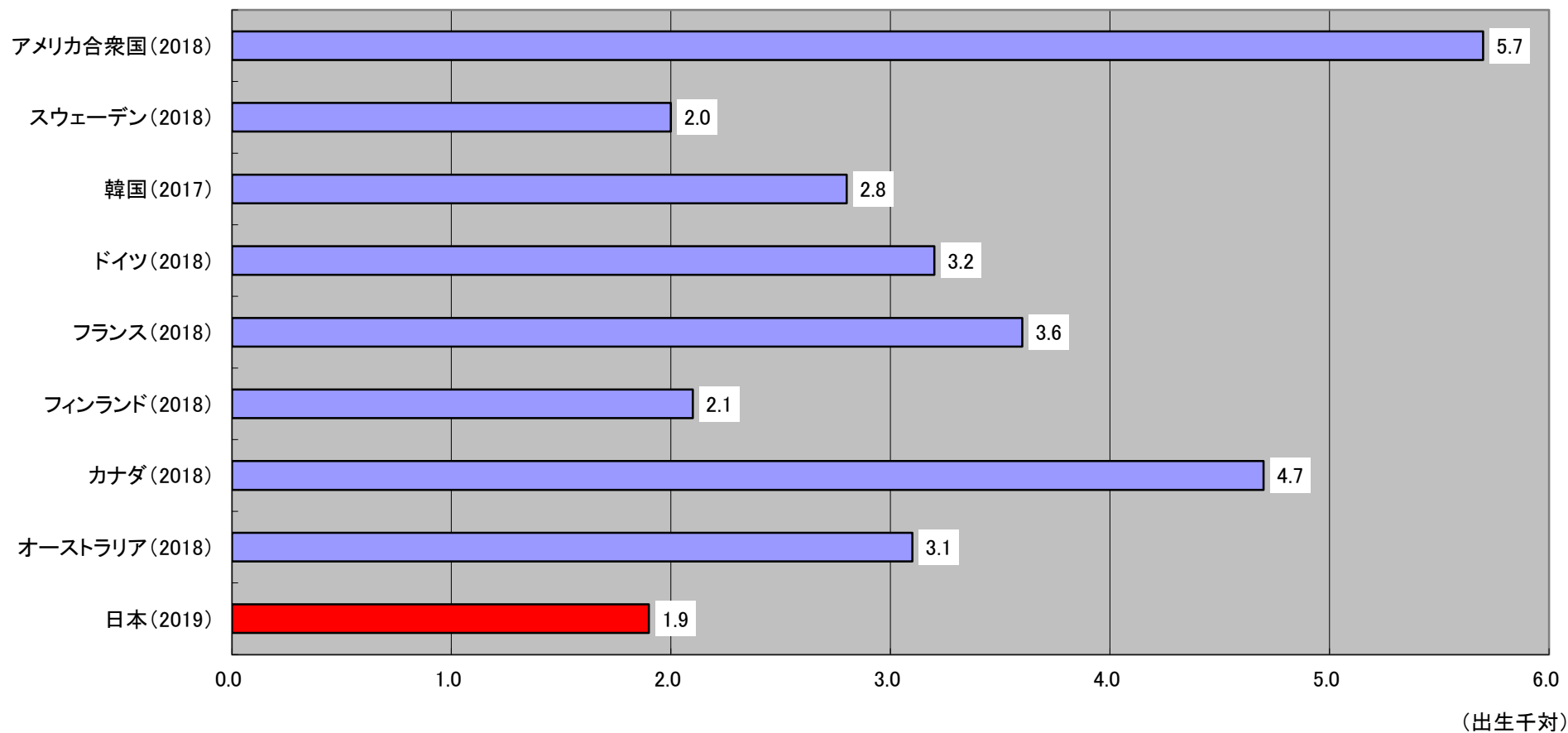
全国・本県ともに乳児死亡率は減少傾向にある。平成17年から全国とほぼ同水準で推移している。平成30年は全国水準を大きく下回ったが、令和元年には増加に転じ、全国を上回った。



厚生労働省「人口動態統計」による。

主要国の乳児死亡率

我が国の乳幼児死亡率は1.9%と、主要国の中でも低い水準にある。

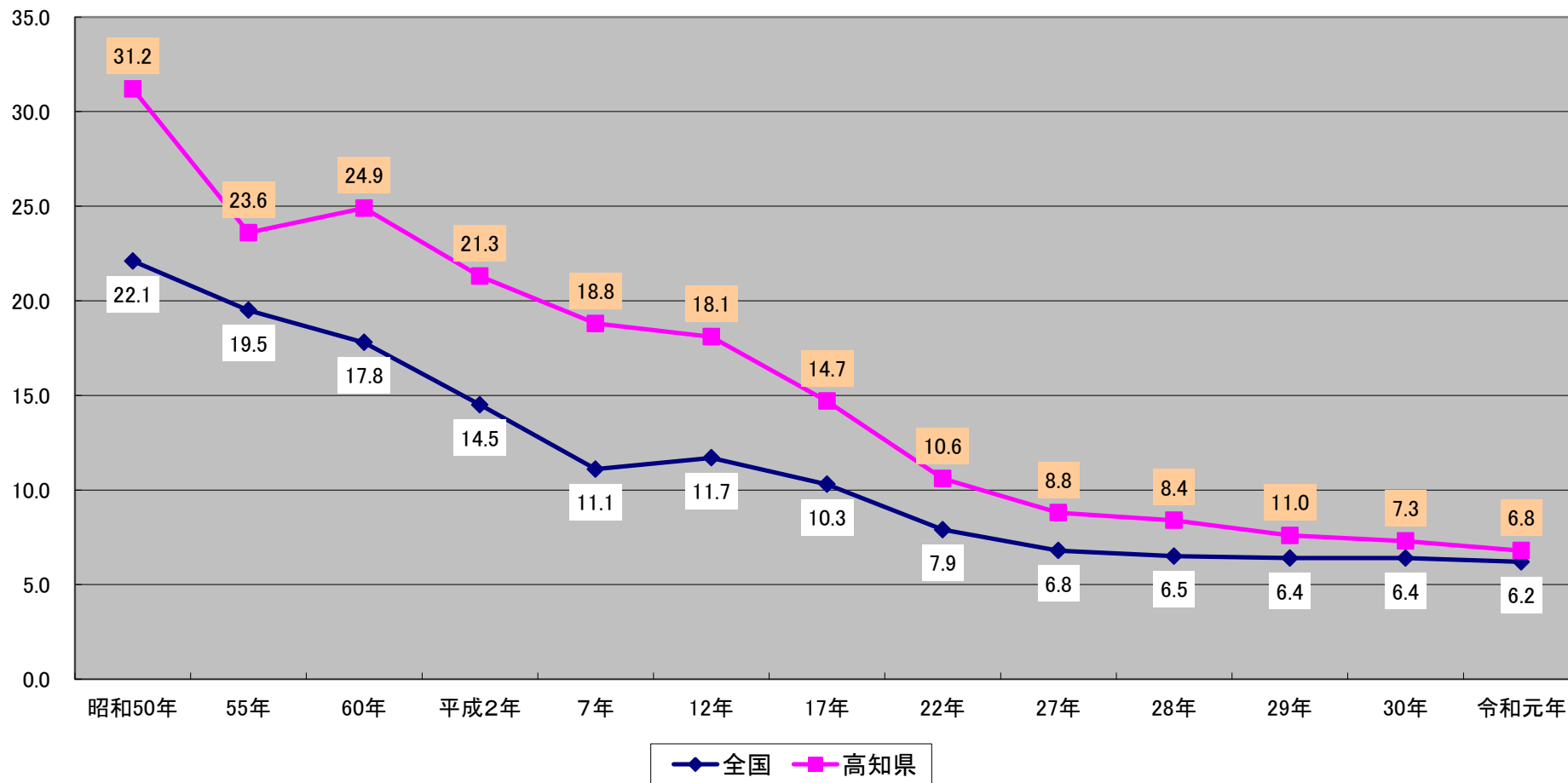


資料: UN, Population and Vital Statistics Report, Series A (オンライン版)による。(例年は「国立社会保障・人口問題研究所」の資料より。) 日本は、厚生労働省政策統括官(統計・情報政策担当)『人口動態統計』による。乳児死亡率は、出生数1,000に対する0歳死亡数の比率。

15～49歳
女子人口
(千対)

人工妊娠中絶実施率の推移

人工妊娠中絶実施率は、全国・本県ともに減少傾向にある。本県は全国より高い率ではあるものの、近年はほぼ全国に近い率で推移している。

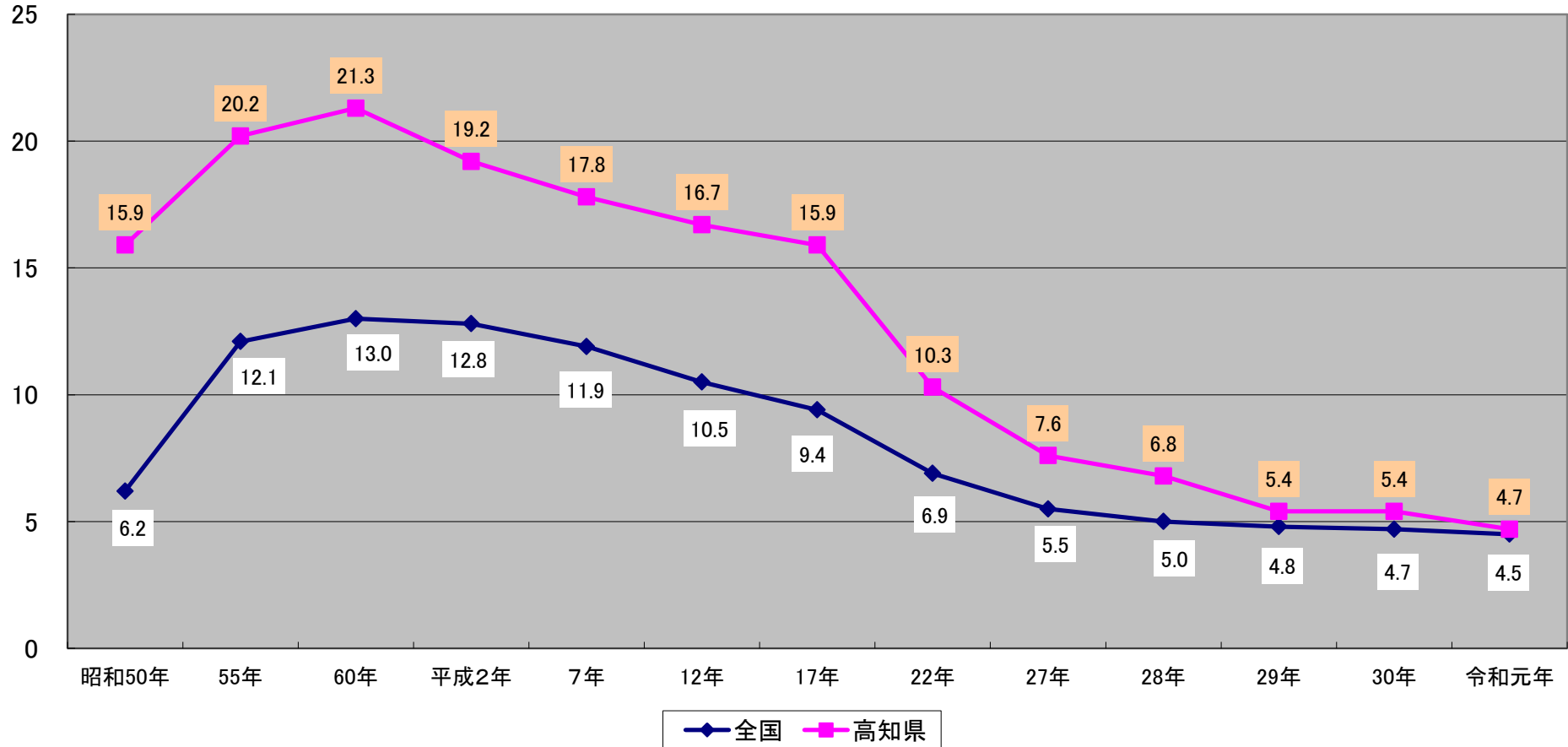


資料：厚生労働省「衛生行政報告例」による。15歳～49歳の女子を対象として算出。

10代の人工妊娠中絶実施率の推移

15～19歳
女子人口
(千対)

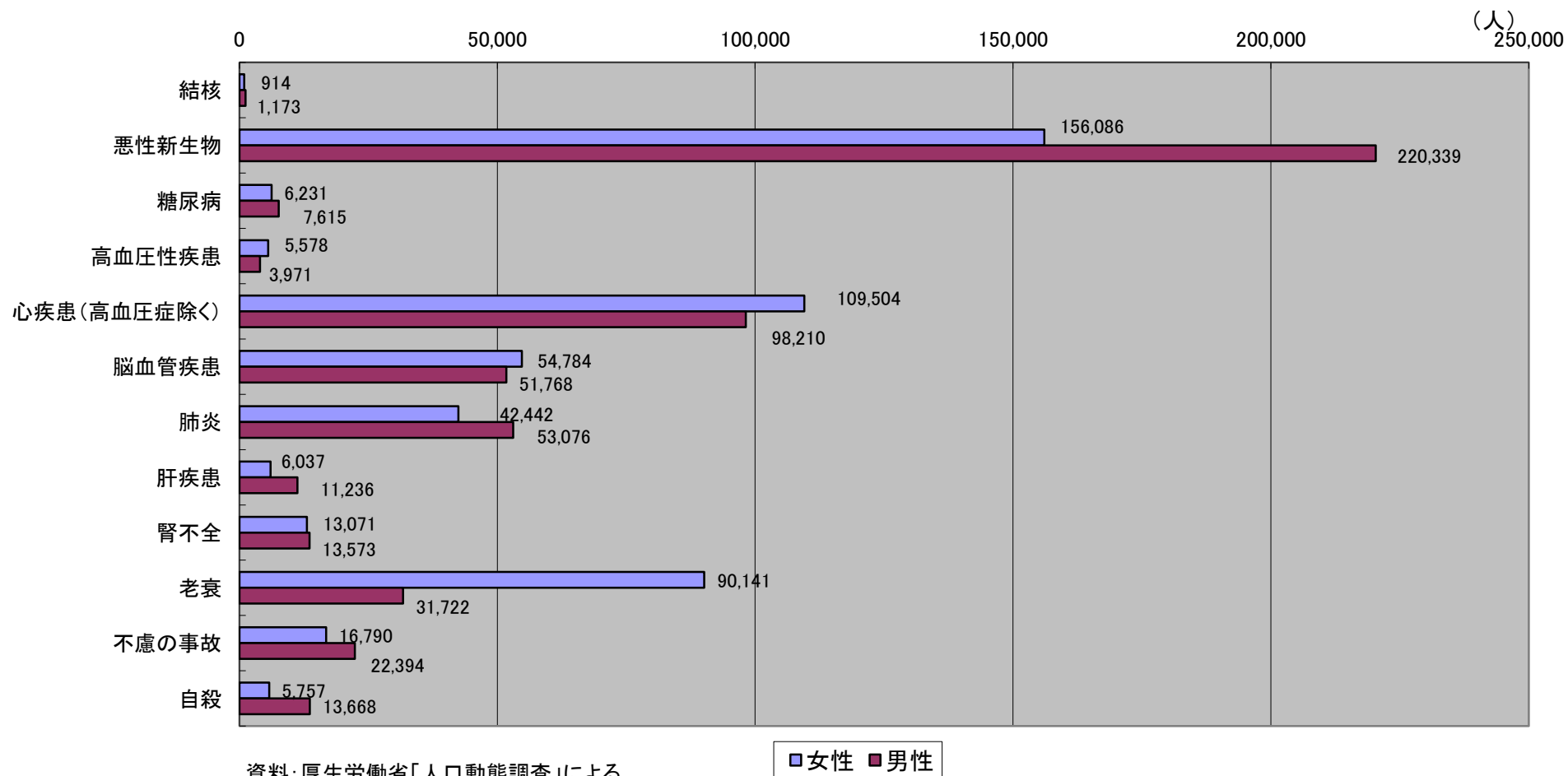
10代の人工妊娠中絶実施率は、全国・本県ともに減少傾向にある。本県の10代の人工妊娠中絶率は、近年、全国に近い率で推移している。



資料：厚生労働省「衛生行政報告例」による。20歳未満(15歳未満含む)の人工妊娠中絶件数を15～19歳の女子人口で除して得た割合。

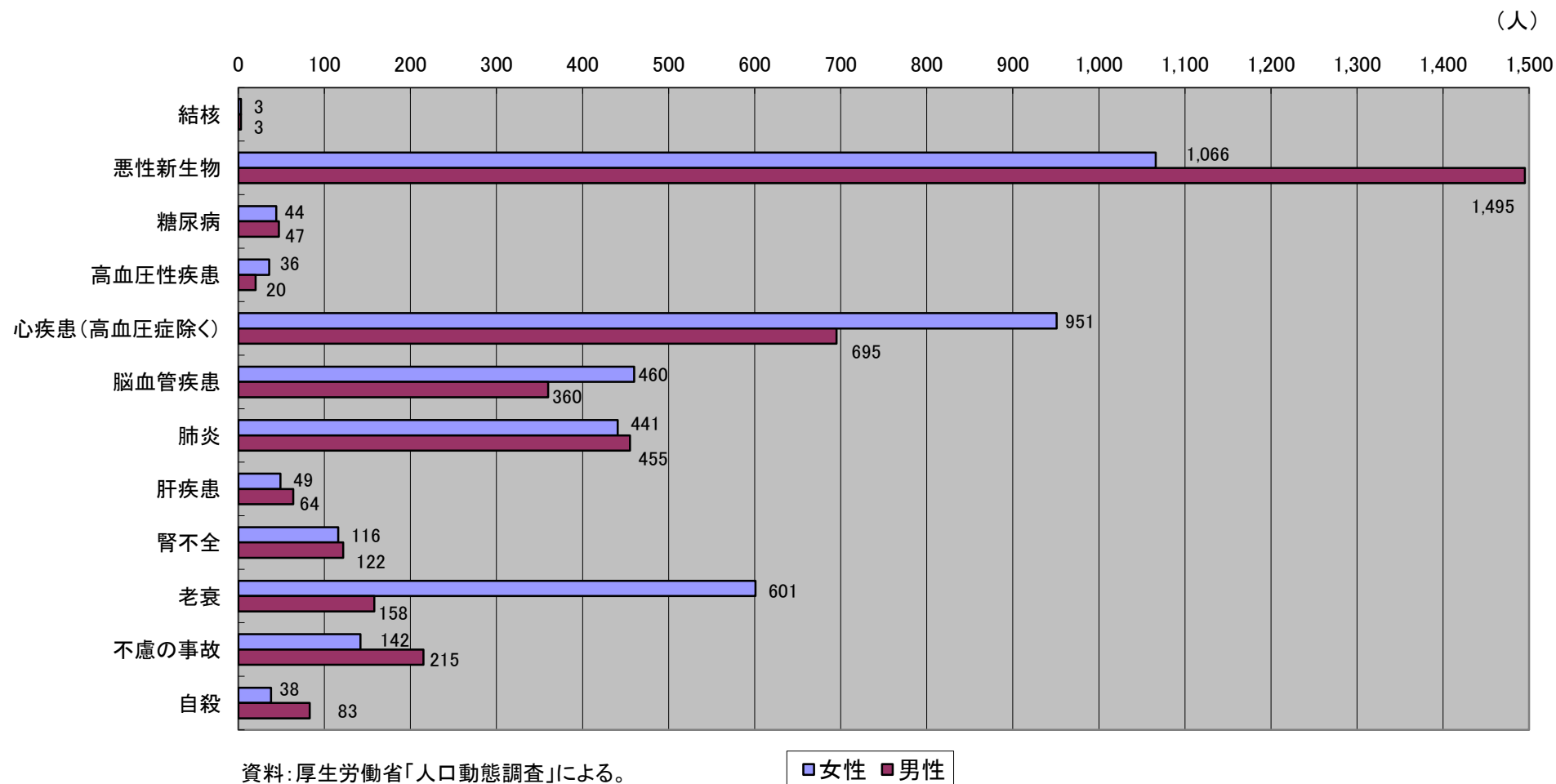
主要死因別死亡者数（全国：令和元年）

男女ともに悪性新生物を死因とする死亡者数が最も多く、次いで心疾患が多い。また、自殺者数は、男性が女性の2倍以上にのぼり、老衰は女性が男性の3倍近くになっている。



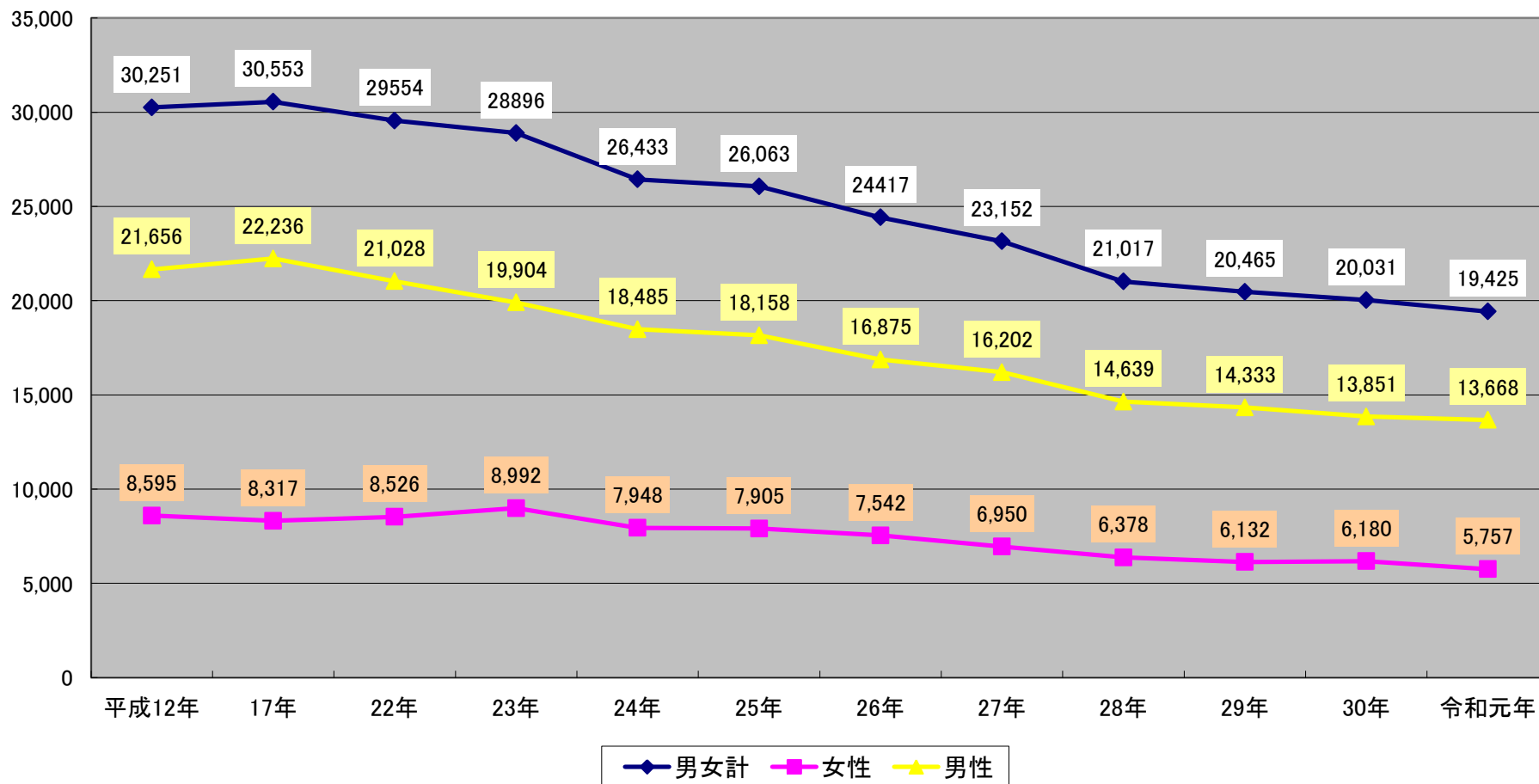
主要死因別死亡者数（高知県：令和元年）

男女ともに悪性新生物を死因とする死亡者数が最も多く、次いで心疾患となっている。男性は、その後に、肺炎、脳血管疾患と続くが、女性は老衰が男性の3倍以上と多くなっている。また、自殺者は男性が女性の2倍以上である。



自殺者数の推移(全国)

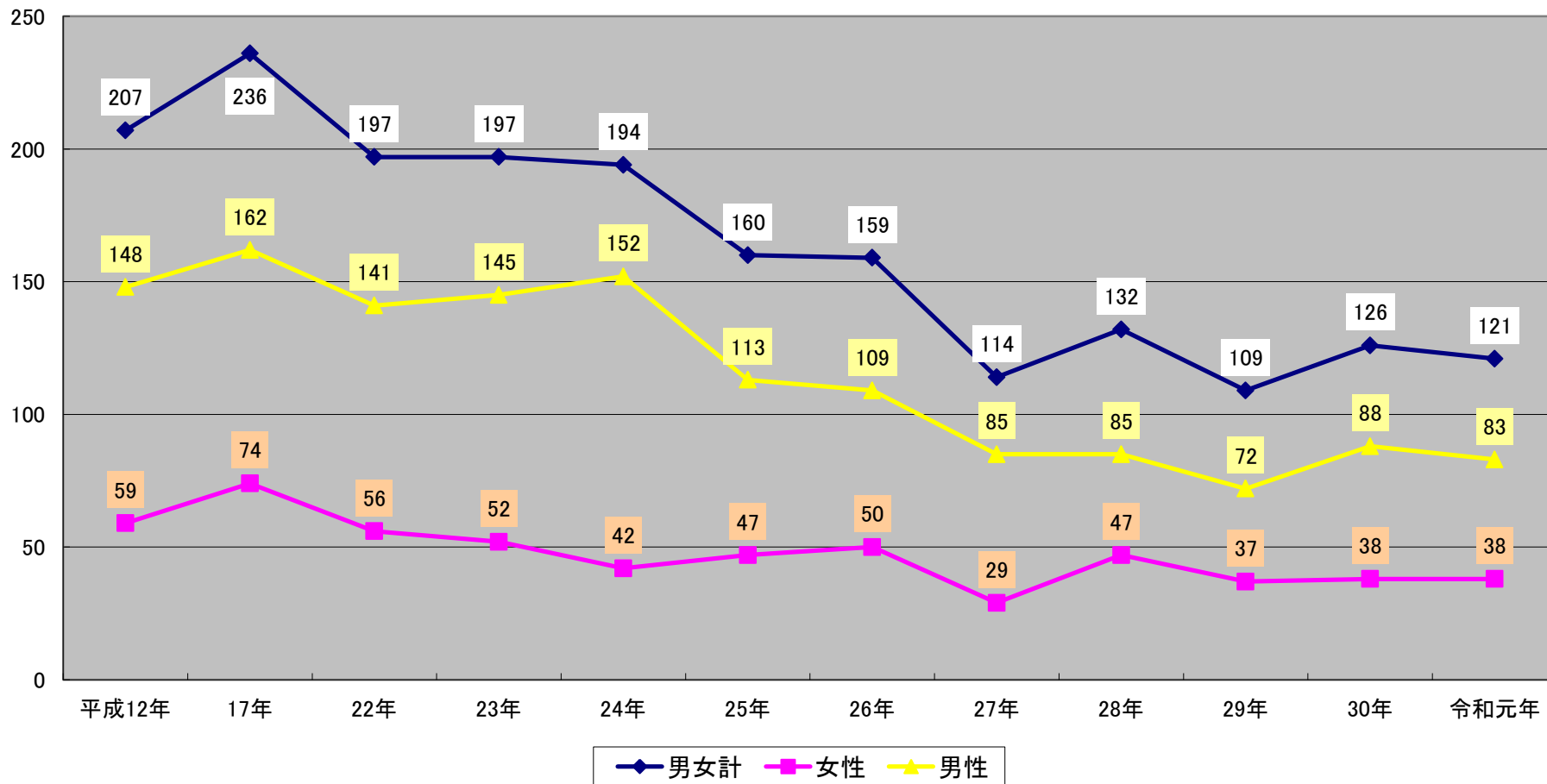
(人) 全国における自殺者数は年々減少し、令和元年には年間2万人を下回った。しかし、男性の自殺者数は女性の自殺者数の2倍以上にのぼる。



資料:厚生労働省「人口動態統計」による。

自殺者数の推移(高知県)

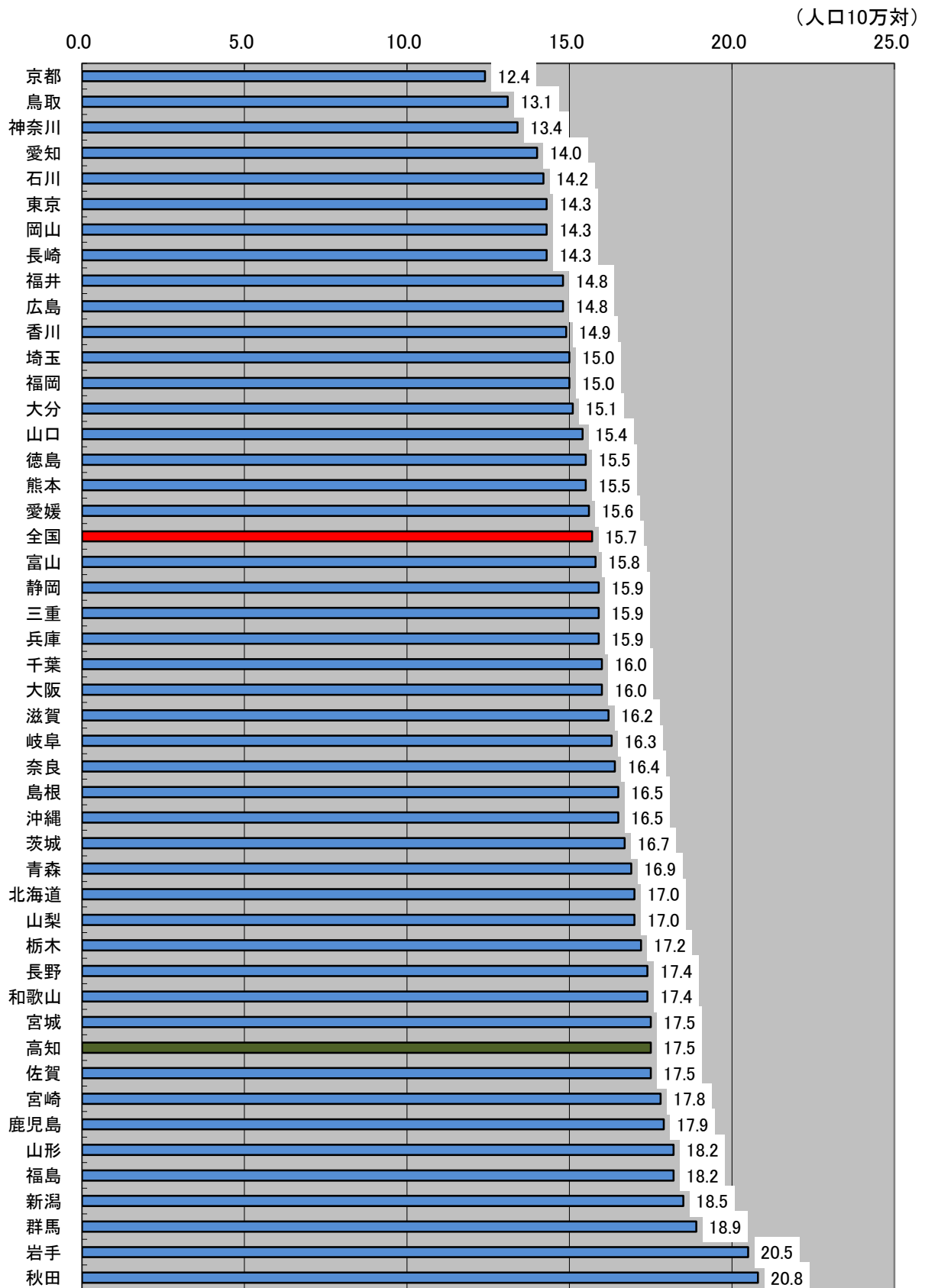
(人) 本県における自殺者数は減少傾向にあるものの、近年の男性自殺者数は女性の2倍以上となっている。



資料:厚生労働省「人口動態統計」による。

都道府県別自殺率(令和元年)

本県の自殺率は17.5で、全国では38番目である。



資料:厚生労働省「人口動態統計」による。